

学校教育目標

豊かな心を持ち、進んで行動する生徒の育成

関中だより

平成30年
11月12日
第26号
(文責 花岡)

生徒会、委員会頑張っています



後期の生徒会にバトンタッチし、朝のあいさつ運動も新しいメンバーでスタートしています。このような生徒会活動や委員会活動が学校に活気を与えたり、雰囲気をよくしていく力になっているのです。福祉委員会は、スーパ―の前で、赤い羽根街頭募金の呼びかけをしました。地域の中で福祉活動に貢献することも、地域の方に生徒会活動を理解していただける大事な機会となっています。

十月三十一日
赤い羽根街頭募金に
福祉委員会が協力



これから朝のあいさつ運動です



亀山市音楽会に出場しました

文化祭の合唱コンクールで優秀だった3年生の2クラスと吹奏楽部が十一月六日の亀山市音楽会に出場しました。左の写真は、課題曲の「結」を歌っているところです。発声方法や声量、ハーモニーもさすがが中学生だなと感じる合唱でした。会場の小学生たちも雰囲気がかわり中学生になったからこれだけ歌えるんだなということを感じることができたのでしょうか。



亀山市小中学校音楽会



亀山市小中学校音楽会

この上の写真は、吹奏楽部が「能面」という題の吹奏楽曲を演奏しているところです。能面の無表情でいて、すべての表情をあらわす雰囲気や日本的な芸能の奥深さが曲から伝わってくるような演奏で、少数でもここまで演奏できるんだという素晴らしい演奏だったと思います。

食物連鎖とブツダのお話

どんな仕事をしていようと、どういふ身分であろうと、悟ることができるといい。いつも、つぎのことを考えなさい。いま、自分は何をしているのか、自分のしていることは、自分にどうして大事なことなのか、そして大勢の人にとって大事なことなのか、世界中の人にとって大事なことなのか、この自然にとってあらゆる生き物にとって大事なことなのか、よく考えなさい。



そしてもしそうでないとしたら、やめるがよい。なぜなら、この世のものはみんなひとつにつながっているからだ。よ。

手塚浩史（「ブツダ」より）

私たちが毎日食べる給食。これは、だれが持ってきてくれているのだろうか。だれが作っているのだろうか。そして、この米はだれが作っているのだろうか。この給食の中にどれだけの命が入っているのだろうか。自然界の中では、食う食われるの関係があり、私たちの口に入る食べ物（生き物）は、育つまでに動物ならばたくさん他の生き物を食べて育っているのだから、私たちはたくさん他の生き物によって生かされていることになりました。だから食べる前に「いただきます」と手をあわすのです。このように自然界はいろいろなつながりをもって成り立っています。私たちの学校やクラスだっていろいろな人のおかげで成り立っているといいていいでしょう。そのような中で私たちは生かされているからよりよい生き方をしようという考えが、図書室においてある手塚浩史さんの作品に表れています。右の文は其中の一つです。日頃の自分の行動をこの文に当てはめてみてください。大事なことなのかどうなのか・・・